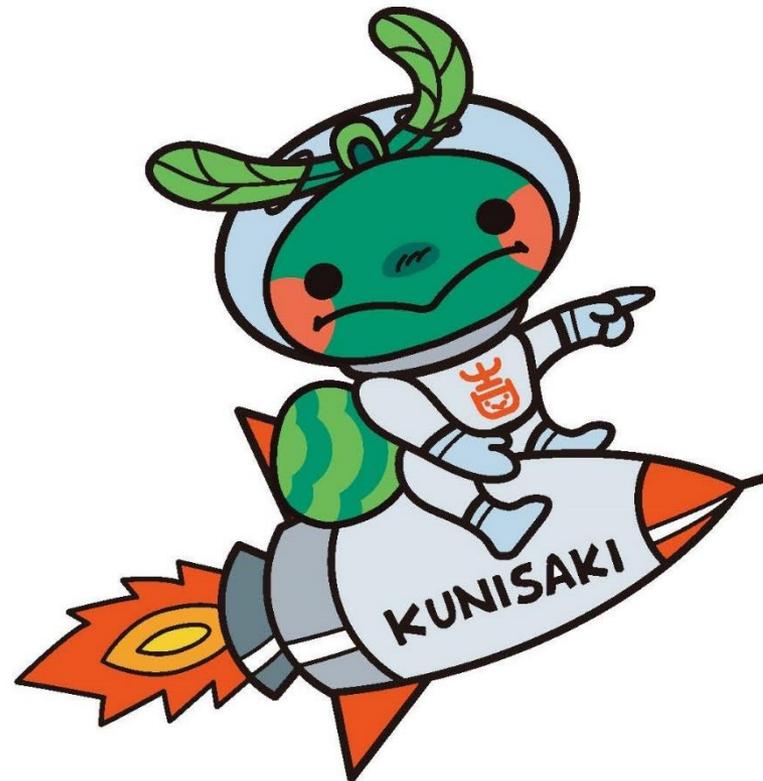


# 令和4年度国東市学力調査の 結果について



偏差値

	国語		算数		理科	
	知識	活用	知識	活用	知識	活用
1年生	50.9	53.0	52.6	53.0		
2年生	49.9	50.8	51.4	51.2		
3年生	51.7	52.0	53.3	52.8		
4年生	51.7	53.4	53.6	52.0	51.1	50.2
5年生	53.1	52.1	53.5	52.8	51.0	52.1
6年生	50.1	51.4	54.4	54.0	53.1	51.2

は、偏差値50以上の項目

偏差値

	国語		社会		数学	
	知識	活用	知識	活用	知識	活用
1年生	52.6	52.4	50.7	51.5	53.4	53.4
2年生	49.8	50.5	48.4	48.6	49.3	50.6
3年生	49.1	49.3	48.6	48.9	48.8	48.5
	理科		英語			
	知識	活用	知識	活用		
1年生	50.2	50.9	49.0	48.8		
2年生	48.5	48.4	47.5	47.4		
3年生	48.1	47.5	51.0	51.4		

は、偏差値50以上の項目

# 同一集団経年比較（偏差値の比較）

## 小学校

同一集団経年比較において、前年度偏差値以上を達成した項目を小学校14／24項目にする。【R03小学校 13/24】

偏差値

	国語		算数		理科	
	知識	活用	知識	活用	知識	活用
1年生						
2年生	-3.2	-3.3	-2.1	-2.8		
3年生	1.2	0.5	1.0	-1.0		
4年生	0.9	1.4	2.6	1.2		
5年生	2.2	0.9	0.9	1.3	0.2	2.0
6年生	-3.3	-0.8	-1.7	-0.4	1.8	0.4
		は、昨年度偏差値を上回った項目				

達成した項目 15／24

# 同一集団経年比較（偏差値の比較）

## 中学校

同一集団経年比較において、前年度偏差値以上を達成した項目を中学校15／26項目にする。【R03 中学校 9/26】

偏差値

	国語		社会		数学	
	知識	活用	知識	活用	知識	活用
1年生	0.6	-1.3			-2.6	0.5
2年生	-2.7	-1.1	-1.5	-2.6	-0.7	1.2
3年生	-1.2	-1.0	-2.3	-1.2	-1.6	-1.7
	理科		英語		達成した項目 6／26	
	知識	活用	知識	活用		
1年生	-2.0	-3.1				
2年生	-3.0	-1.3	-1.6	-4.0		
3年生	0.1	-2.1	1.1	1.0		
		は、昨年度偏差値を上回った項目				

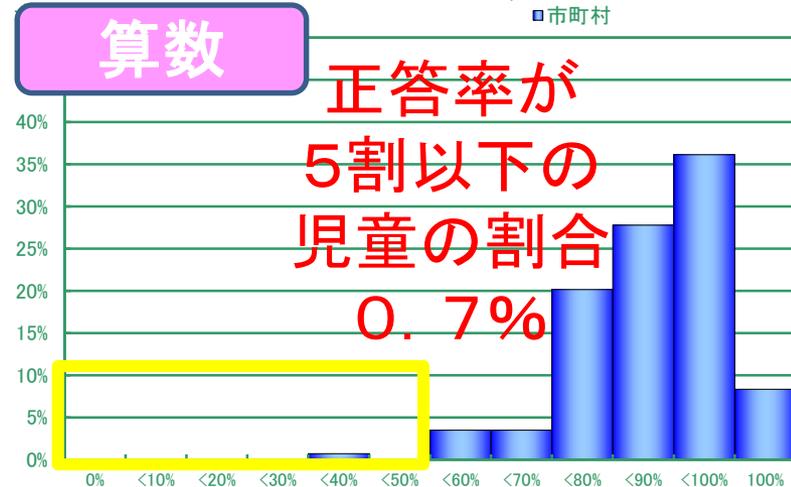
## 正答率度数分布（小学校1年生）

正答率が5割未満の児童の出現率5%以下の教科を7/15以上にする。

国語

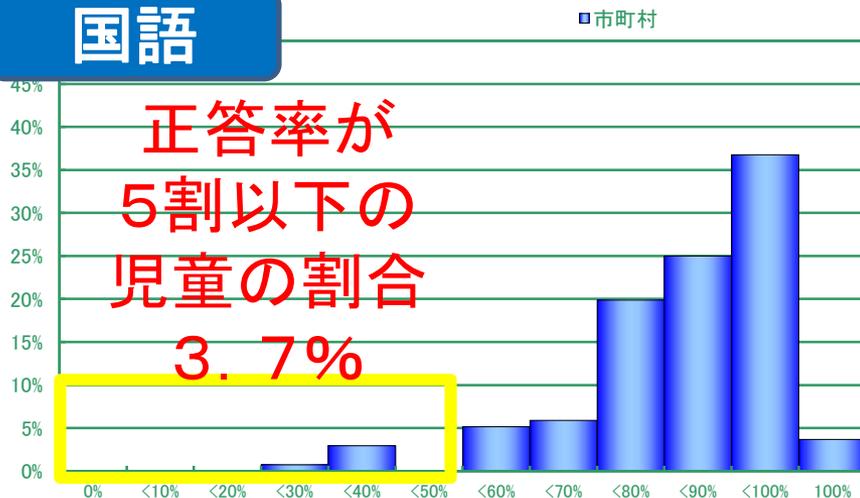


算数

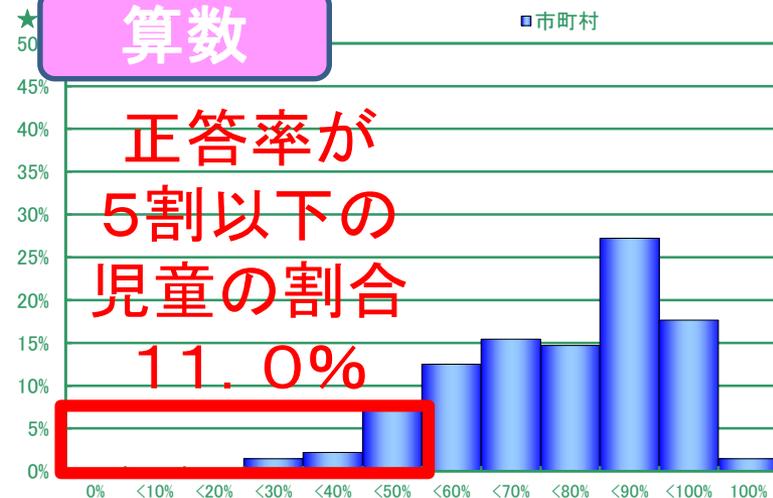


## 正答率度数分布（小学校2年生）

国語



算数



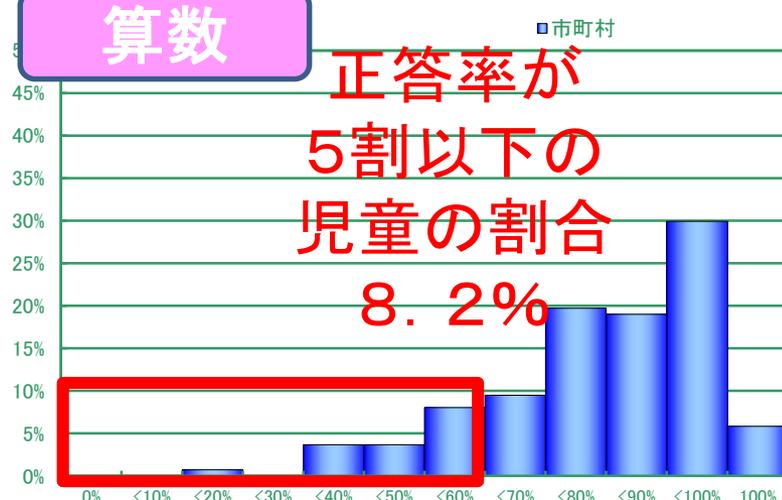
# 正答率度数分布（小学校3年生）

正答率が5割未満の児童の出現率5%以下の教科を7/15以上にする。

## 国語



## 算数



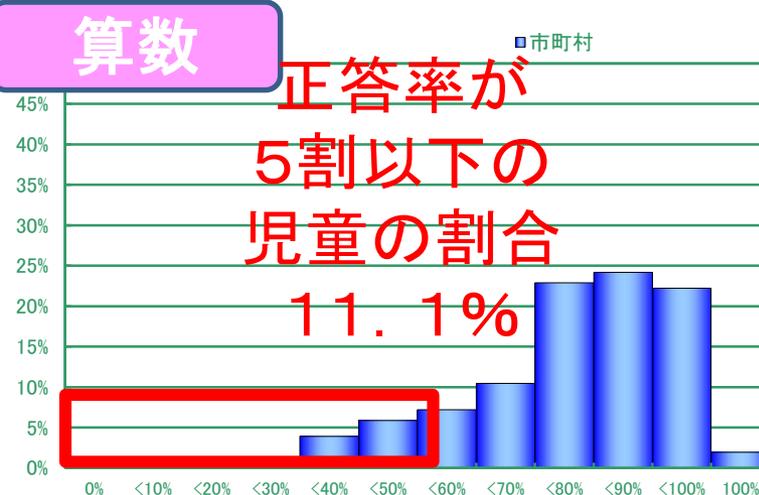
# 正答率度数分布（小学校4年生）

正答率が5割未満の児童の出現率5%以下の教科を7/15以上にする。

## 国語



## 算数



## 理科



# 正答率度数分布（小学校5年生）

## 国語

正答率が5割未満の児童の出現率5%以下の教科を7/15以上にす  
る。

■市町村



## 算数

■市町村



## 理科

■市町村



# 正答率度数分布（小学校6年生）

## 国語

正答率が5割未満の児童の出現率5%以下の教科を7/15以上にす  
る。

■市町村



## 算数

■市町村



## 理科

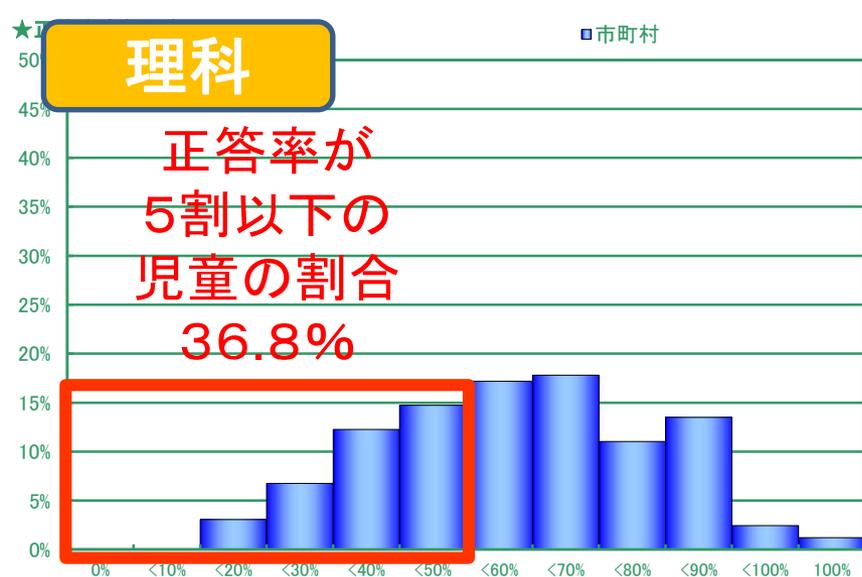
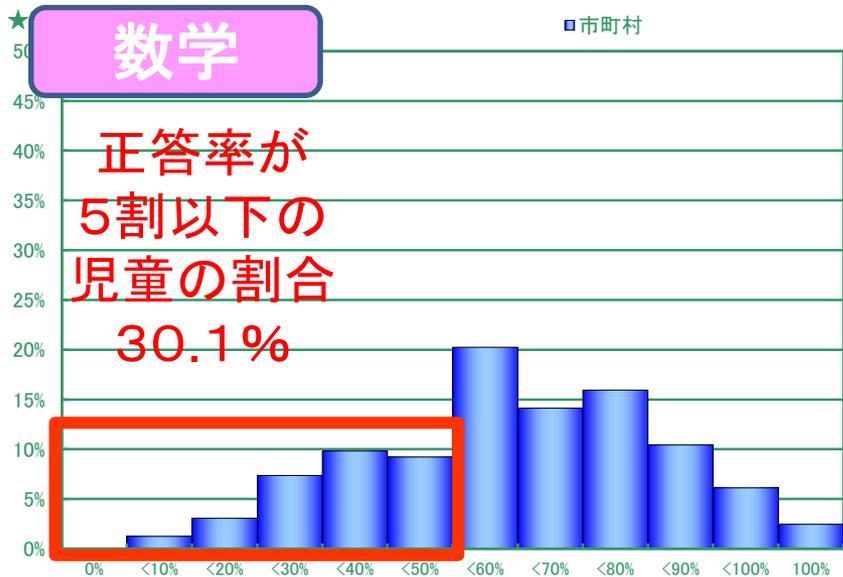
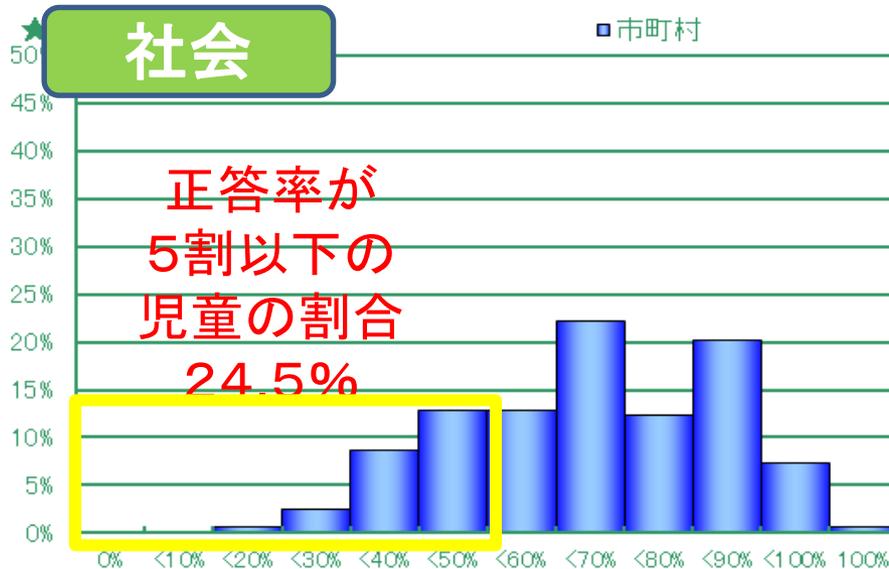
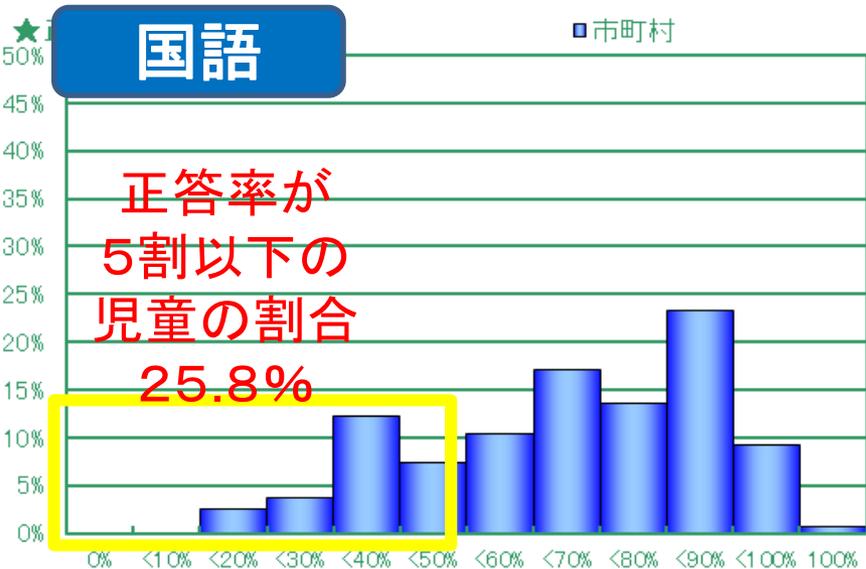
■市町村



合計達成教科  
6/15

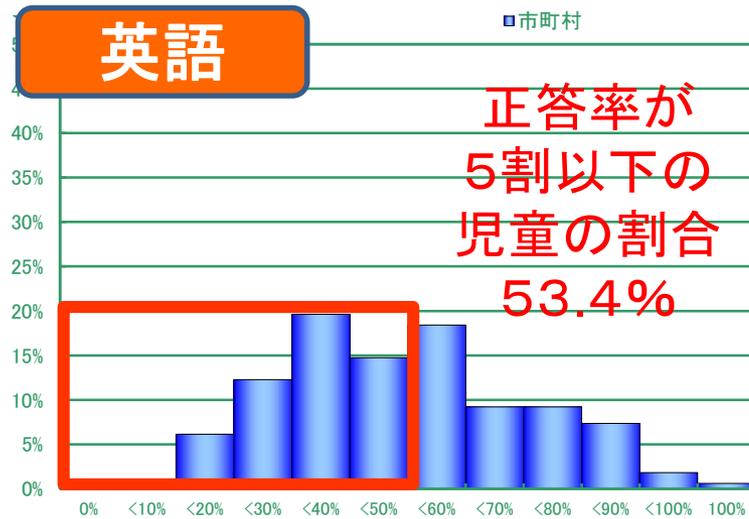
# 正答率度数分布（中学校1年生）

正答率が5割未満の生徒の出現率30%以下の教科を7/15以上にする。



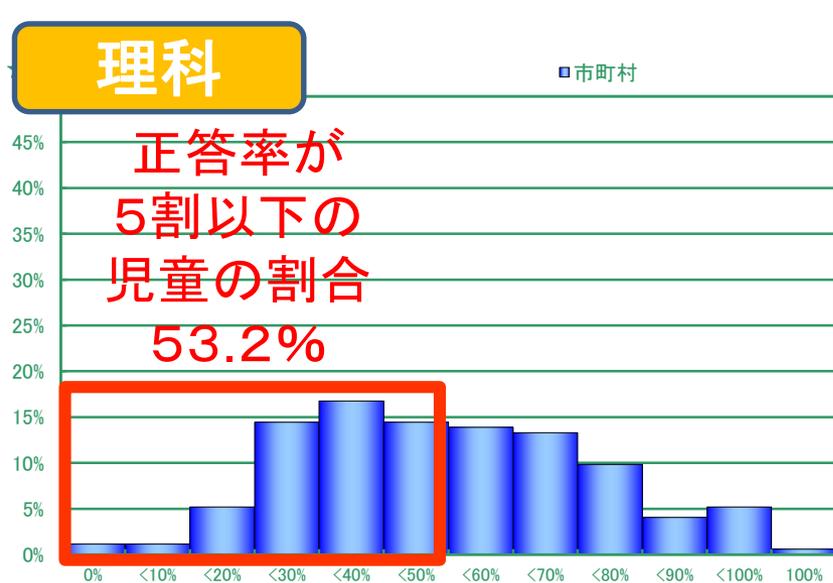
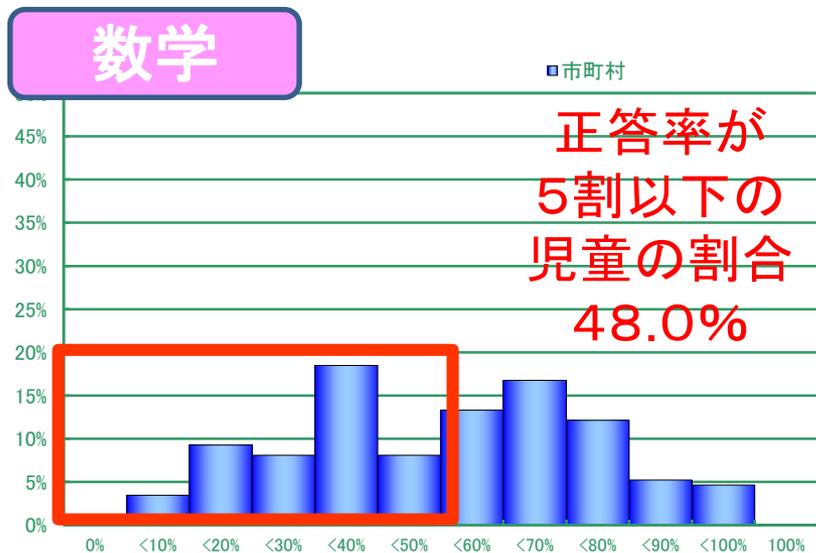
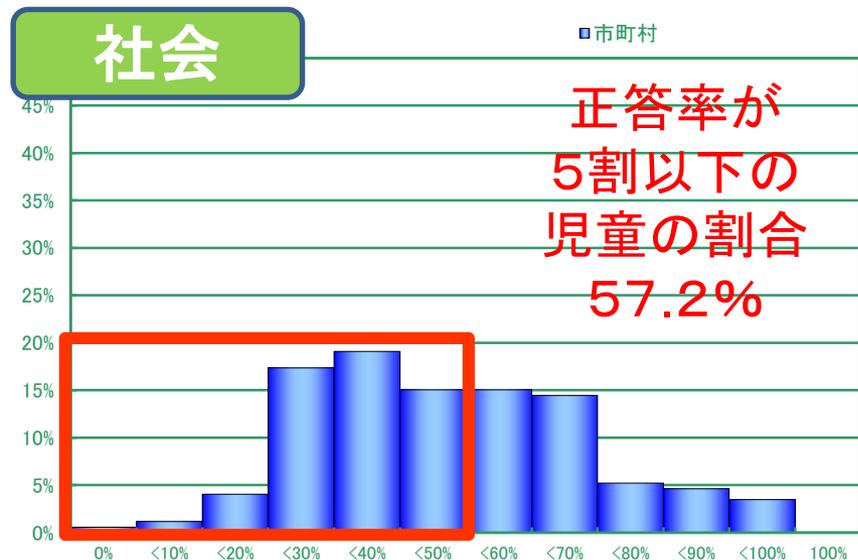
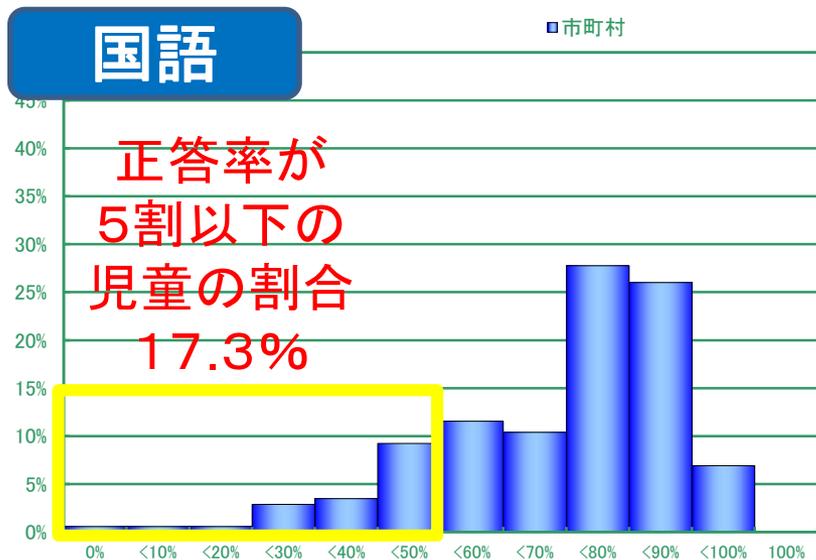
## 正答率度数分布（中学校1年生）

正答率が5割未満の生徒の出現率30%以下の教科を7/15以上にする。



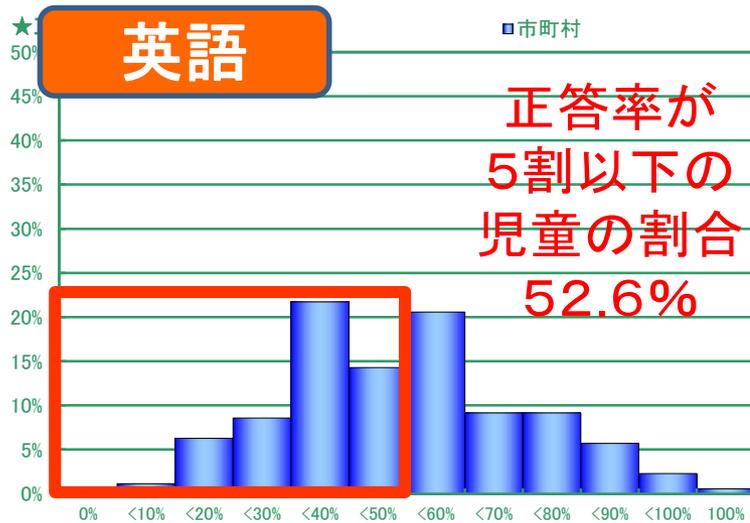
# 正答率度数分布（中学校2年生）

正答率が5割未満の生徒の出現率30%以下の教科を7/15以上にする。



## 正答率度数分布（中学校2年生）

正答率が5割未満の生徒の出現率30%以下の教科を7/15以上にする。

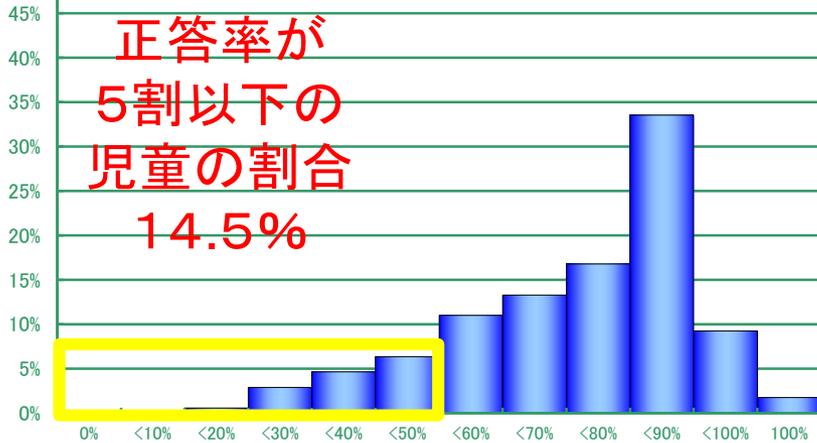


# 正答率度数分布（中学校3年生）

正答率が5割未満の生徒の出現率30%以下の教科を7/15以上にする。

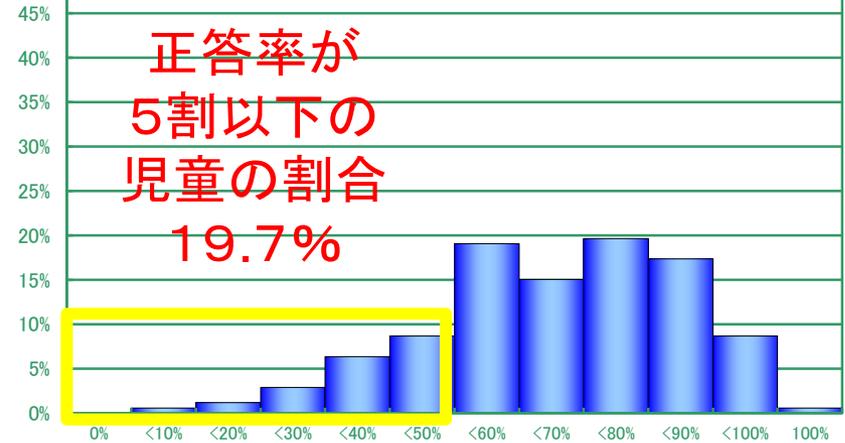
## 国語

■市町村



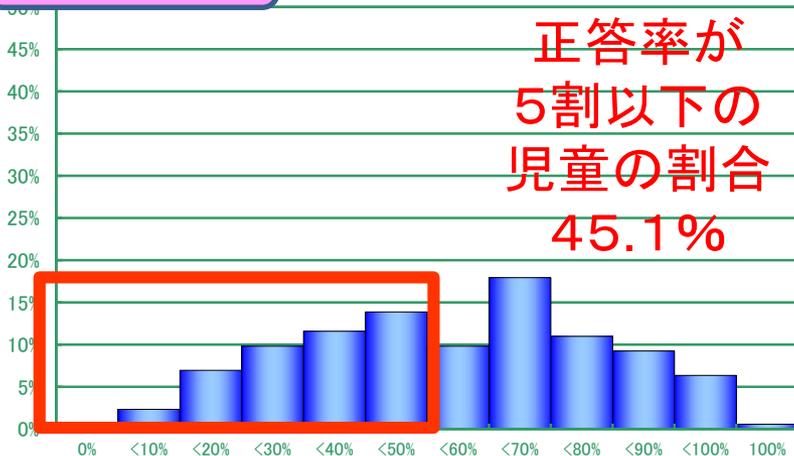
## 社会

■市町村



## 数学

■市町村



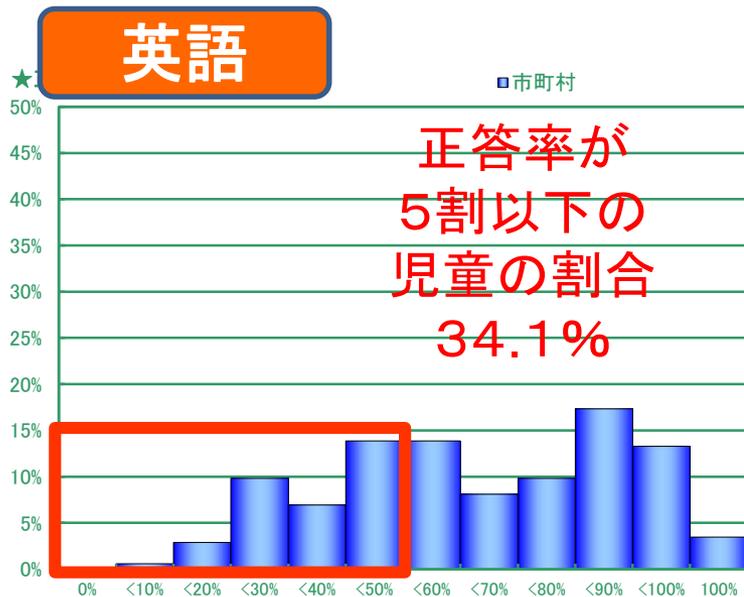
## 理科

■市町村



## 正答率度数分布（中学校3年生）

正答率が5割未満の生徒の出現率30%以下の教科を7/15以上にする。



合計達成教科  
5/15

# 今年度の結果より①

- 全国平均を上回った項目は小29/30、中12/30だった。(R03は小30/30、中21/30)
- 同一集団の偏差値経年比較では小15/24、中6/26の項目で前年度を上回った。(R03は13/24、中9/26)

→小学校・中学校ともに全国平均を上回る項目が減少した。

→小6から中1への丁寧な接続がなされている。

→中2以降のびが求められる。

## 今年度の結果より②

- 正答率が5割未満の児童の出現率5%以下の教科は6/15、正答率が5割未満の生徒の出現率30%以下の教科は5/15だった。  
(R03小学校6/15、中学校6/15)
- 授業の展開の工夫により全員参加の授業を展開する必要がある。
- 個別の支援のさらなる充実の必要性がある。
- 同一教科内における授業改善に向けた協議や実践事例の共有が必用である。